



議会だより



▲新成人のみなさん

▼一斉放水



成人式・出初式

主な内容

- ◆ 臨時会・定例会報告 2p ~ 3p
- ◆ 町政を問う（一般質問） 4p ~ 10p
- ◆ 平成29年度 越前町議会議員視察研修報告書
..... 11p ~ 12p
- ◆ あの課題はどうなった? 13p
- ◆ 議員の議会・委員会等出席状況 14p
- ◆ 平成29年度 行事あれこれ 15p
- ◆ がんばってます!・編集後記 16p



女性消防団の皆さん



解体予定の施設

道の駅越前前のエリア拡充を目的として購入した敷地上の施設を解体するため、設計委託料と工事費を計上しました。

道の駅越前前隣接施設解体事業
(設計委託料・工事費)
4,392万6千円

< 12 月定例会提出された議案等 >

議案番号	件 名	議決の結果
報告第8号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	報告のみ
議案第49号	越前町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	全会一致
議案第50号	越前町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	全会一致
議案第51号	越前町子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について	全会一致
議案第52号	越前町母子家庭等医療費の助成に関する条例及び越前町父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について	全会一致
議案第53号	越前町重度障害者（児）医療費の助成に関する条例の一部改正について	全会一致
議案第54号	越前町ふるさと特産加工場条例の廃止について	全会一致
議案第55号	平成29年度光ヶ丘大橋補修工事請負契約について	全会一致
議案第56号	平成29年度越前町一般会計補正予算（第11号）	全会一致
議案第57号	平成29年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致
議案第58号	平成29年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致
議案第59号	平成29年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	全会一致
議案第60号	平成29年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第6号）	全会一致
議案第61号	平成29年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	全会一致
議案第62号	平成29年度越前町温泉事業特別会計補正予算（第3号）	全会一致
議案第63号	平成29年度越前町上水道事業会計補正予算（第3号）	全会一致
議案第64号	平成29年度越前町国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）	全会一致

お知らせ

村上哲議員が平成29年12月8日をもって議員辞職しましたので、欠員となった特別委員会副委員長・一部事務組合議会議員は次のように決まりました。

- 議会活性化特別委員会副委員長：南ゆかり議員
- 一部事務組合議会（鯖江広域衛生施設組合）議員：伊部良美議員

こんなことを審議しました

臨時会・定例会報告

< 第2回臨時会に提出された議案 >

議案番号	件 名	議決の結果
承認第16号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度越前町一般会計補正予算（第7号）	全会一致
承認第17号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度越前町一般会計補正予算（第8号）	全会一致
承認第18号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）	全会一致
承認第19号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度越前町上水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致
承認第20号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度越前町一般会計補正予算（第9号）	全会一致
承認第21号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度越前町一般会計補正予算（第10号）	全会一致
承認第22号	専決処分の承認を求めることについて 平成29年度越前町温泉事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致
議案第48号	平成29年ブローホール波力発電装置改良業務委託契約について	全会一致

◆契約金額…6,315万8,400円
◆受託者…国立大学法人 東京大学
(先端科学技術研究センター)

平成29年度ブローホール波力発電装置改良業務委託契約について

上水道事業	温泉事業	公共下水道	一般会計				会計
第19号	第22号	第18号	第21号	第18号	第17号	第16号	議案番号
2,800	4,860	11,000	1,170	42,448	14,124	18,970	金額(千円)
牛越ポンプ場の送水ポンプ故障に伴う修繕工事費用	玉川温泉施設故障に伴う修繕工事費用	織田浄化センター監視装置、汚水中継ポンプ故障に伴う修繕工事費用	織田図書館空調施設修繕費用 織田学校給食センター厨房機器の購入	台風21号により被害を受けた町有施設の修繕費用	訴訟弁護士費用 公共下水道事業への繰り出し分	第48回衆議院議員総選挙費用	主な内容

専決処分の承認（補正予算）

第2回臨時会

会期 11月10日

12月定例会

会期 12月12日～15日

条例

越前町ふるさと特産加工場条例の廃止について

ふるさと特産品加工場（小倉地係）の売上げが減少し、今後の維持管理費の増大が見込まれるため閉鎖することになったので、条例を廃止します。

一般会計補正予算

ふるさと特産品加工場厨房機器撤去等工事

325万円

ふるさと特産品加工場を閉鎖に伴い、厨房機器を撤去する工事を計上しました。



現場踏査の様子(ふるさと特産品加工場)



笠原 秀樹 議員

町長

本町では、災害が発生または発生するおそれがある場合には、災害対策本部条例や地域防災計画に基づき、迅速に災害対応への体制をとる。河川の増水で氾濫注意水位を超えた場合には、副町長、全理事と指定された職員が参集し、災害対策連絡室を設置して情報収集に当たる。また、避難判断水位を超えた場合には、町長以下全職員が参集し、避難準備・高齢者等の避難準備開始を発令するなど、町の対応は原則として、河川の増水の場合は水位、地震の場合には

10月22日から23日にかけて925ヘクトパスカルの台風21号が接近したが、上陸前から気象庁は「大きな被害が出る」と予報していた。当日は衆議院議員選挙の投票日でもあったが、開票を後日にしてでも、台風に対応するべきではなかったか。

笠原

危機管理体制の整備について

震度に応じて決めてある。

10月の台風21号の時も、投票事務に従事しない職員を本庁に待機させ、出来る限り情報を収集した。23日午前0時に天王川が氾濫注意水域に達し、和田川も避難判断水位を超えたため、午前1時に、新町になって初めての避難勧告を発令し、流域の住民に避難を呼びかけた。

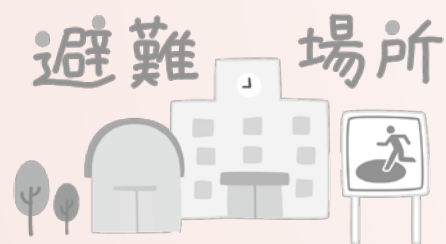
選挙事務も大変重要な職務であるが、常に町民の生命と財産を守ることが最優先であると考えている。今後においても臨機に対応していきたい。

笠原

避難勧告の発令は台風がもつとも激しい時ではなかったか。

町長

自主避難所は22日午後3時に開設した。避難勧告についても、基準水位に達する前に対応ができた



台風21号の豪雨で冠水した水田<写真は福井新聞社提供>



質問

町政を問う!

木村 繁 議員



地域におけるため池の防災・減災対策について

木村

① 地域のため池（防災重点ため池を含む）の再点検を実施しているのか。
② ため池ハザードマップは、いつ公表するのか。
③ 危険度に応じたため池の防災減災対策の強化についての所見を問う。

町長

① 農業用ため池については、平成25年度～27年度に国が全国一斉点検を実施している。
また県では、平成28年度に「防災重点ため池」と「堤防の決壊時に人家に被害が及ぶ恐れのあるため池」に対して氾濫分析を行っており、町内においても55ヶ所で見られている。
② 平成30年4月には区長等関係者に説明会を開催し、ハザードマップを配布する予定である。ま

施設避難所としての小・中学校の施設利用計画について

木村

① 災害時避難所としての公立小中学校の施設利用計画について問う。
② 断水時でも利用できる災害型トイレについてどう考えるか。

町長

① 町内の小・中・高校を避難所に指定しているが計画は作成していない。災害発生後の教育活動の再開を考えると、開放する部分とそうでない部分を明確に区分することが必要である。学校関係者と協議しながら計画策定を進めたい。

② 町では、1回交換式の排便収納袋と防災用ウェットティッシュを小中学校の防災倉庫や各コミュニティセンターで備蓄している。また本町は、今年7月にNPO法人コメリ災害対策センターと「災害時における物資供給に関する協定」を締結しており、災害時には本町からの要請でコメリから仮設トイレが緊急物資として届けられることになっている。

今後は、マンホールトイレの検討も含めて避難所のトイレ問題に対処したい。



シティプロモーションについて

木村

越前町をPRするための職員や住民参加によるシティプロモーションへの取り組みについて所見を問う。

町長

本町のHPでは職員が撮影したイベントや式典の映像を放映しているが、シティプロモーションとは言いがたい。先進事例を参考に、ふるさと越前町を全国に発信していきたい。また、町民の方にも積極的に参加していただくような方法を考えていきたい。





南 中かり 議員

いっぱい 質問



青柳 良彦 議員

公共事業における地元負担について

青柳

越前町には、現在119の行政区があり、そのうち、30軒未満の区が全体の44.5%を占めている。現在、公共事業における地元負担率は、町単独事業で30%となっているが、この負担が小規模区では重くのしかかっている。従来どおりの地元負担率では、直したくても直せないという事態に陥ることが危惧される。この現状をどのように受け止めているのか。

町長

現在、地元負担については、受益の公平性を担保するという考え方で納めていただいている。全国的に農業生産基盤である農業用施設などが次々と更新時期を迎え、今後農家や区などの自主組織にその維持管理費が負担となっていくことが危惧される。さらに人口減少や高齢化等が拍車をかけることが予想される中で、町とし

ても小規模な集落が大きな負担に苦慮されている状況については、認識しており、真摯に受け止めている。

現状は、国・県などの補助制度が活用できないか。あるいは、抜本的な事業の見直しなど様々な観点から受益者負担が軽減できないかを十分に検討し、事業の推進に努めている。

今後は、区を健全に維持していくために必要な区道・農林道・用水路・防災施設などについては、事業別に負担金の上限を設けるなど、小規模集落としてどの程度の負担率が適当なのかを区長会の意見を聞きながら、検討していく。

青柳

見直しをするのか、しないのか、はつきりと再度答弁願う。

町長

見直しを含めて区長会と色々な打ち合わせをしていく。

超高齢化社会にむけて地域福祉の取り組みについて

南

各地区と行政が協力し、住民の実態や福祉ニーズを把握して、お手伝いしたい人と手伝ってほしい人をつなぐしくみを作る必要がある。世代を超えて、福祉に意識を向けてもらえるよう福祉ポイント制を提案する。ポイントがたまると地域振興券と交換でき、地元の商店などで利用できるようにする事で、誰でも無理なく楽しんで福祉に参画できるようにしてはどうか。

また、免許返納後も高齢者が安心して老後が過ごせるよう、行政と各地区の商店などが協力し、生活物資の運搬に保健師を同乗させた「見守りCar」を導入してはどうか。

町長に地域福祉の取り組みについて、具体的な政策を問う。

町長

本町でも超高齢化が進み、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯は増加傾向

向にあり、要介護者の増加と多様化する福祉ニーズに対応するため、人のつながりによる福祉サービスが求められている。※第3次越前町地域福祉計画では「思いやり、支え合いの心で誰もが安心して住めるまち」を基本理念に、高齢者や障がいのある人といった対象者ごとでなく、地域という生活の場に焦点をあてたネットワークづくりや地域社会づくりを目指している。

現在、町では高齢者の生活を支援するため、民生児童委員、老人クラブ、介護事業者等で買物に同行するというサービスが提供できないか検討したり、町社会福祉協議会と連携して、区長、民生児童委員、福祉推進員の三役研修会の開催を行っている。行政、事業者、町民のつながりによる福祉サービスやボランティアポイント制も活用しながら、地区ごとのしくみづくりをしていきたい。

また、町社会福祉協議会では、町内の小中学校の福祉体験授業、ボランティア入門講座、介護サ

ポーター養成講座等を開催している。今後は、さらに子どもたちに福祉の心を育み、町民に福祉ボランティア団体の活動を紹介する等して意識の高揚と人材の育成に努めたい。

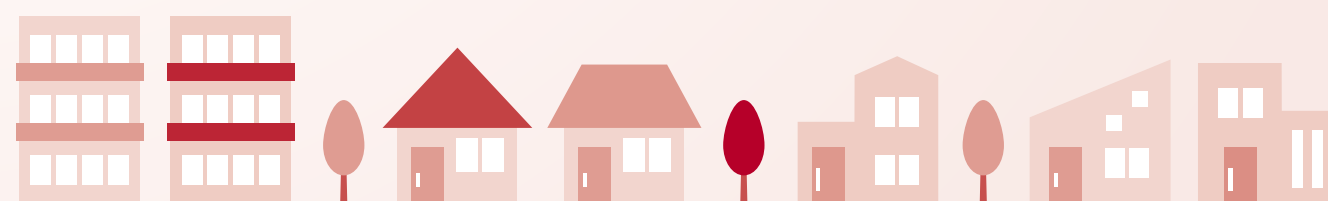
南

人口予想では、2年後には本町は、1人の高齢者を1.2人の若壮年で支える社会になる。各地区、地域の課題を踏まえ、現在のニーズに合ったサポートを行政に願う。



町長

※第3次越前町地域福祉計画
越前町地域福祉計画は、越前町総合振興計画の理念に基づき、地域を基盤とした福祉を推進するための具体的な取り組み方針。越前町では、平成29年3月に第3次計画を策定し、『思いやり支え合いの心で誰もが安心して住めるまち』として、「支え合いのある地域づくり」「地域福祉の担い手となる人づくり」「福祉サービスが利用しやすい環境づくり」の3つの基本理念を柱に、具体的な施策に取り組んでいます。





伊部 良美 議員

いっぱん 質問



高田 浩樹 議員

児童生徒の 情報教育とICTの 活用について

高田

小中学校の児童生徒の情報教育（※情報リテラシー、情報モラル等）と、ネットトラブルの現状と対策について伺う。

教育長

小学校では、情報手段になれ親しみ、文字入力から活用まで教材を利用しながら指導。中学校では、情報活用の実践とともに、ネットワークの危険性、モラルや人権、個人情報保護などを学習している。

今年度4月から11月までのネットトラブルは、中学校で4件、小学校で2件に対応。アンケートや直接児童生徒や保護者等からの情報提供をもとに把握し、対策会議を開き、学校全体で解決に取り組んでいる。未然防止対策として、情報モラル教育のほか、外部講師による非行防止教室や保護者対象

の講演会等を行っている。
子どもたちは保護者の判断と責任のもとでスマートフォン等を持ち、学校生活以外の場所や時間帯で使用しているので、学校での取り組みとともに家庭での教育に期待している。

高田

小中学校におけるICT（情報通信技術）活用の現状と今後の展開について伺う。

教育長

ICT活用の現状は、授業での活用のほか、学習発表会や学校行事等での活用、テレビ会議室システムを使った小規模校同士のつながる授業※SS連携などを行っている。

ICT環境整備の推進は、今後子どもたちの学びの充実のため大変重要だが、多くの予算が必要であるため、計画的に進める。また、教員の活用力向上についても、町全体で取り組めるよう支援していきたい。

教員の多忙化解消に 向けての 取り組みについて

高田

小中学校の教員の多忙化解消に向けての現在の取り組みと課題と対策について伺う。

教育長

教員の多忙化解消と勤務時間の適正化に向けては、①「人的な支援と組織的な取り組み」、②「教職員一人ひとりの意識の高揚」、③「研修の見直し」、④「教職員の健康管理」を中心に取り組んでいる。



※情報リテラシーとは
情報を自己の目的に適合するよう
に使用できる能力のこと。
※SS連携（授業とは
小規模学校同士が連携して行う授
業のこと）
「os」は「Small School」略。

高田

今後の課題と対策としては、家庭、学校、地域社会が担う役割の見直しと改善、部活動指導員や学校運営支援員の増員とその人材確保、校務支援システム導入による校務の効率化等、また中長期的に取り組むべき課題等を整理し、総合的な業務改善のための方針を検討していく。

教育長

越前町子どもたちのためにということを第一に考え、しっかりと取り組んでいく。



教育長

エネルギー構造 高度化転換理解促進 事業について

伊部

ブローホール波力発電システムで発電された電力を、隣接する越前北部処理場で利用できないか。世界唯一といわれるブローホール発電をPRする施設を整備してはどうか。

また、もんじゅ廃炉に伴う風評被害の対策について、漁業と観光の町の長としてどのように考えているのか。

町長

越前北部処理場におけるブローホール電力の利用については、現在実施している調査結果を踏まえて検討したい。PR施設整備については、建屋の新設は国の補助の対象外となるが、美浜町のように既存の施設を改修して活用するのは可能と考える。制約は多いが、世界初のブローホール発電を地域資源として、観光事業や教育分野

企業誘致した 株式会社 東京セロレーベルに ついて

伊部

会社と町の協議の進捗状況はどうなっているのか？早く新工場の建設に取り組んでもらうことが、若者の働く場の提供につながり人口減少への歯止めになるのではないか。

町長

私も働く場を提供することが、人口減少対策や少子化対策に大変

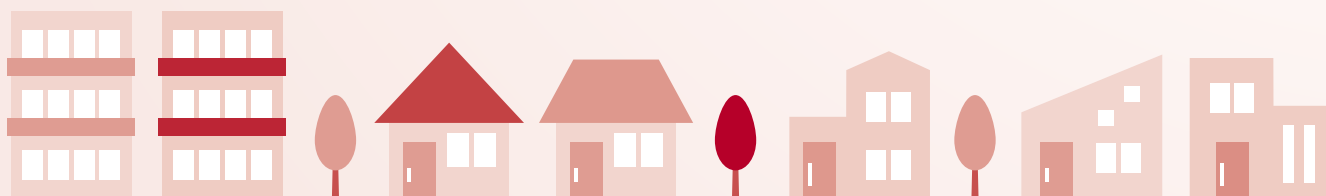
道の駅「越前」の 隣接旧旅館解体工事 について

伊部

取り壊し跡地の駐車場整備に対して、県にもっと協力を働きかけてはどうか。

町長

取り壊し跡地の駐車場整備と併せて歩道の整備も計画している。道の駅「越前」は、県と町との一体型の整備方式で整備された施設なので、町の負担を少しでも軽減するため、県の支援を要請していきたい。



平成29年度 越前町議会議員視察研修報告書

- 参加者
議員13名、副町長、事務局3名 計17名
- 日程
平成29年10月4日(水)～6日(金)
- ・天童市 「健康マイレージ推進事業」
「6次産業化の推進」
- 内容
・庄内町 「日本遺産の活用」「インバウンドの推進」



新産業創造館「クラッセ」

◆庄内町なんでもバザール
6次産業化工房で製造した加工品や、町内で採れた安全安心な地場野菜等の農産物に加え、町民が作った手工芸品についても展示販売できる



なんでもバザール

◆6次産業化共同利用加工場
惣業加工や菓子製造等に利用する加工機械の配置に加え、製粉機や野菜等乾燥機を配置するなど、農産物等の原材料の一時加工にも利用できる。



協同利用加工場

◆食のアンテナレストラン
アル・ケッチャーノオーナーシェフの監修、協力を得て、こだわりの米や地場野菜、庄内豚等を活かした地域の素材にこだわった料理を提供。



レストラン

◆カフェコーナー
手づくりの焼き立てパンや、コーヒー等ソフトドリンクを提供するコーナーで、多くの方が気軽に立ち寄り、くつろげる場所と時間を提供。



パンを選ぶ地元の子ども

議員質疑(庄内町役場)

庄内町では、日本遺産の活用やインバウンド推進事業を積極的に行っているが、それに対して町民はどういった反応を示しているのか。
町民には「当たり前の良さ」に気付いてもらいたいと考えている。



庄内町役場にて

庄内町には観光資源があまりないため、町の食文化や歴史などを活かした「できる範囲で、身の丈に合った」観光振興を行っている。
使用料に町民と町外利用者との区別をつけてもよいのではないかと。
現状は町民より町外利用者の方が多い。

いっぱん質問

町政を問う!



田中 太左門 議員

今後の集落のあり方

田中

町には119の集落の内、65歳以上の人口が5割を超える集落(限界集落)が11集落存在しています。今後の予備軍も多数あり、また、4月1日現在の高齢化率は約32%です。そこで、本町として、コンパクトシティー化や空き家対策、農林水産業への影響を検討して、どのような施策や対策を実施しているのか。

町長

10年後には全町の半分以上の集落が、高齢化の進んだ集落になると考えられる集落の存続を検討する場合、最初に想定するのは、集落同士の結合でより大きな自治組織をつくること。しかし、全住民の理解が必要で簡単にはいかないと思う。2つめの方法として、集落施設はそのままに、複数の集落を共同体として育成すること。小学校区程度の集落を緩やかな共助組織とし、地域間の交流によってお互いに道水路の管理を手助けする。

3つめの方法として、既存集落を存続するために、集落行事等を全面的に行政が行うこと。実際には、専属職員を選任するか、または外部組織への委託となり、自治体にとって人的にも費用的にも大きな負担となる。



地域資源を利用した住宅補助金制度の拡充について

田中

町の耐震化率はどのように進んでいるのか。景観からの町独自の住宅補助金や非構造部材の落下防止対策などと、どのような施策を検討しているのか。

町長

本町の住宅における耐震化の現状は、平成26年度の住宅数6,560戸のうち耐震化住宅は3,970戸で、耐震化率61%と推計される。また、平成32年度においては、耐震基準により建築されている住宅の建てかえ等が進み、耐震化住宅は4,270戸となり、耐震化率は66%になるものと推計される。

また、伝統的民家の保存に直接携わっていく後世の方々にとって特徴的な越前瓦を維持し、また地震に備えるための耐震改修や瓦の落下防止対策を行うための費用は莫大なものになることが予想され、経済的な面から大きな負担になっていくものと懸念される。現在、耐震改修工事の補助対象となっていない非構造部材である屋根瓦のみの落下防止対策について、耐震改修工事の補助対象として実施できないかなど、県の補助制度を視野に入れ、町として応援できることはないかを検討する。福井

田中

人口減少社会の到来で、きずなの喪失、活力の低下になり、そこで、「交流なくして活力なし、活力なくして交流なし」と思う。

地域コミュニティの活性化を進めることで、地域資源の保全、再生、価値の向上になり、地域の自信、誇りの再生につながり、みずからの地域を愛し、誇りを持って暮らせるならば、おのずとして誰しもが訪れたくなる。それが越前町になると思う。観光施設づくり、一過性のイベント、話題づくり、ゆるキャラ、B級グルメなど、地域全体で取り組むことでいろいろな魅力のある地域資源が、観光や定住促進、農林水産業や商店街の再生、お年寄りの生きがいづくり、住民誇りの醸成など、豊かな地域づくりになり、そういう面になるべく皆さんのきずなを大事にして人づくりを大事にした施策を来年度は考えていただき、そのことが地域に、集落の活性化につながるのではないかとと思う。

あの課題はどうなった？

～ 子育て支援 ～

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨や委員会、全員協議会での内容を掲載していますが、その中で協議されたことが、その後、どのように反映されているのかを調査しました。
今回のテーマは、「子育て支援」についてです。

現在町が実施している支援制度の一部

● 誕生の証

オリジナルデザインの「誕生の証」をフレームに入れてお贈りします。



● 誕生記念品の贈呈

いくつかの記念品の中から好きな記念品を選んでいただけてプレゼントします。



● 出産育児祝金

町内に一年以上お住まいの家庭で、3人目以降のお子さんが生まれると、
出産育児祝金 50,000 円が支給されます。

● チャイルドシート購入費補助

チャイルドシート（ジュニアシート）購入費の3分の1（上限は 10,000 円）を助成します。
〈1人1台まで〉

● 病児病後児保育（織田病院）

病気の治療中（病児）または回復期（病後児）の小学校6年生までのお子さんを一時的に預けることができます。1日 2,000 円で、3人目以降のお子さんは無料です。

※利用の際は、織田病院（☎ 36-1000）まで。

● 発達相談会

言葉や発達がゆっくりだと思われる18歳未満のお子さんのため、個別相談会を開催しています。（毎月開催）

● 通学支援補助制度

高校生の保護者に対し、学校教育の経済的負担を軽減することにより、子育て支援及び定住促進を目的として補助金を交付しています。（申請者の負担額は年額最高 60,000 円）

※詳しくは役場までお問い合わせください。

町外利用者の方にも「クラスセ」を利用していただいて、それをきっかけとして庄内町をPRできればよいと考えている。

問 今後の課題は。

答 現在は、フリーズドライ加工用の施設しかないが、今後はレトルトや瓶詰め等の商品開発も考えている。

山形県天童市

天童市 ～健康マイレージ

「TendoすこやかMy進事業」

事業概要

TendoすこやかMy進事業は、平成27年度より山形県の県費補助事業として山形県ほぼ全域で実施されているが、特に天童市は、事業内容の充実や先進的な取り組みを実施し、山形県を代表する健康実践モデル自治体となっている。

運動を中心とした健康づくりの取り組みをポイント化し、一定のポイントが貯まったら景品や特典に応募ができる。対象となる活動は、健康教室やスポーツイベントへの参加、プロサッカー二部リーグのモンテディオ山形の試合観戦も対象となる。ポイント交換の景品も、事業の趣旨に賛同したスポンサーが提供する景品も多数揃えている。ポイント対象メニューの充実と事業賛同企業からの景品もより充実させていく予定。

議員質疑（天童市役所）

問 健康寿命を延ばすことが目的と考えるが、目標や指標はあるのか。一日の運動量の目安は決めているか。

答 指標は示していないが、目標は要介護認定の数値の改善。一日の運動量は達成基準を15分としている。

問 協賛者の反応はどうか。

答 日頃からお付き合いのある団体に話を持ちかけ、賛同していただいた。

問 職員の参加率はどうか。モンテディオ山形との事業提携のきっかけは。

答 職員の参加はあまり積極的ではないが、事業PRに協力してもらっている。きっかけは、モンテディオ山形側から事業連携のお話をいただいた。

問 導入時に「健康をモノで釣るのか」という議論はなかったか。

答 そのような意見がないこともなかったが、裾野を広げることを目的にこの事業に取り組んだ。



天童市役所にて

今後の取り組み

本活動の登録者は高齢者が多く、特に女性に偏っている。若者や男性の登録者が少ないので、注力して参加を募りたい。昨年、腰痛にかかる健康教室を取り入れたところ、男性の参加者が多かったことから、男性の関心のあるメニューや教室を増やしていきたい。また若い人にも特化した教室にも積極的に取り入れていきたい。



TendoすこやかMy進事業パンフレット



◎ 終わりに

庄内町は平成28年4月25日に出羽三山が日本遺産に認定されて以来、周辺市町とともに広域的な観光振興、インバウンドの推進を図っている。研修会の開催や企画の手法などは、同じく日本遺産の認定を受けた本町も参考にしたい。

また、新産業創造館は、新商品開発のための場所の提供や高性能な機器の貸し出しだけでなく、商品開発や販路拡大に対する支援も行っている。今後もさらに商品開発を行うとのことであり、現状に満足することなく新分野の展開に力を入れる姿勢は見習うべきである。

また、天童市は山形県下全域で実施されている健康マイレージ推進事業の先進自治体として、更なる事業の拡充に努力している。

越前町でも今年6月から健康ポイント事業を実施しているので、ポイント付与活動の内容や景品など参考になることが数多くあった。議員からは活発に質問があり、本町議員の関心の高さが伺われた。

この研修において、事業内容や運営方法ももちろんであるが、周辺地域と連携した事業の推進、他の自治体に先駆けての事業展開など、自治体の意識の高さも大いに参考となる研修となった。

平成29年10月27日

越前町議会 議長

北島 忠幸

平成
29年度

行事あれこれ

成人式

於:1月7日 越前陶芸村文化会館



二十歳(はたち)の門出



お祝いにかけつけた来賓の皆さん

越前消防団出初式

於:1月7日 織田地区



全員集合



消防団員の勇姿

越前かにまつり

於:11月18日 道の駅越前



多くの観光客がかに汁を堪能

水仙まつり

於:12月16日 アクティブランド体育館



水仙娘からのプレゼント

議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

(9月28日~12月15日)

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退 ()は欠席の理由 (公)は公務、(葬)は葬儀参列

月日	曜日	諸 会 合 名	北島 議長	笠原 副議長	高田 議員	南 議員	村上 議員	藤野 議員	米沢 議員	田中 議員	佐々木 議員	齋藤 議員	伊部 議員	青柳 議員	木村 議員	吉村 議員
10	2	議員月例会	(公)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	△	○	○	○
		福井県市町議会議員合同研修会 (県自治会館)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	水														
	5	木														
	6	金														
	10	火														
	11	水														
	12	木														
	17	火														
	18	水														
	31	火														
		公立丹南病院組合議会議員研修 (春日井市・彦根市)	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	×
		議会広報特別委員会	—	—	○	○	×	○	○	○	○	—	—	—	—	○
		鯖江広域衛生施設組合議会研修 (湖南市・京都市)	—	—	—	○	×	—	○	—	○	—	—	—	—	—
		丹南地区市町議会議長会議員 研修会(鯖江市)	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	6	議員月例会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	火														
	8	水														
		鯖江・丹生消防組合議会議員研修 (愛知県瀬戸市)	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	—	—
		議会運営委員会	○	—	—	—	—	—	—	○	○	×	○	○	—	○
	10	金														
		平成29年第2回臨時議会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		嶺北町村議会議長会議員研修 (永平寺町)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	月														
	14	火														
		丹南広域組合議会議員研修 (京都市・宇治市)	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—
	30	木														
		議会運営委員会	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○
12	4	議員月例会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	火														
		12月議会定例会 (本会議/全員協議会)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	水														
		12月議会定例会 (現場踏査/全員協議会)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	木														
		12月議会定例会(全員協議会)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		12月議会定例会(本会議)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	金														
		議会運営委員会	○	—	—	—		—	—	○	○	○	○	○	—	○
		議会広報特別委員会	—	—	○	○		○	○	○	○	—	—	—	—	○



嶺北町村議会議長会研修会
(永平寺)



視察研修
<天童市役所議場>



視察研修<新産業創造館「クラッセ」>



視察研修<山居倉庫群>



メンバーの皆さんを
直撃インタビュー

がんばってます！ ソフトバレーさわやか (織田地区)

「チームのご紹介をお願いします。」

私たち「織田さわやか」は、平成のはじめからスタートした、ソフトバレーのチームです。現在メンバーは13名、65歳から88歳で、平均年齢は70代前半です。毎週水曜日、午前9時から12時頃まで織田勤労者体育館にて、主に試合形式で練習しています。

「皆さん、とても元気にプレーされていますね。」

25年ほど続いているのですが、続けてこれたのは健康増進を目的に、楽しく仲良く、ケガのないよう、声を掛け合いながら活動してきたからだと思っています。

この週1回の練習を心待ちにしているメンバーも多く、仲間と一緒に、運動したり話したり

することで、心身の健康や認知症の予防にもつながっていると思います。

ソフトバレーの大会に年2回ほど出場していますが、勝ち負けにこだわり過ぎず、チームワークを大切にプレーしています。

「最後に一言お願いします。」

織田さわやかでは、新規メンバーを募集しております。未経験者歓迎。ソフトバレーを通して、楽しみながら一緒に健康づくりをしていきましょう。

〈インタビューアー 高田〉

“がんばってる” サークルを紹介します。

このコーナーは、
町内で活動している楽しいサークル、
ユニークなサークルを紹介しています。

ご連絡は議会事務局
または各コミュニティセンターへ

傍聴席へどうぞ 次の議会は 3月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集後記

広報委員が新メンバーになり、10ヶ月がたちました。

ベテランの委員はこれまでの経験を活かして、初めての委員は新しい視点から、侃々諤々、時には激論(?)を交わしながら編集作業を行っておりますが、「読みやすく、わかりやすい」議会だよりを作りたい。この気持ちは皆同じです。

私たちは、この広報誌が議会活動に関心を持っていたくださうかけになつてくれれば…という思いで作っています。

親しみやすい議会だよりをお届けするため、日々頑張っております。ぜひ、皆さんのご意見、ご感想をお聞かせください。

(佐々木)

◆議会広報特別委員会◆

委員長 田中 太左門
副委員長 藤野 菊信
委員 吉村 春男
佐々木 一郎
米沢 康彦
南 浩樹
高田 浩樹

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

